

世田谷区立代田小学校
校長 鈴木忍 様

世田谷区立代田小学校
学校関係者評価委員会
委員長 黒田 高史

令和6年度 学校関係者評価報告書

令和6年度世田谷区立代田小学校関係者評価結果について下記のとおり報告します。

1. アンケート実施状況(期間：2024/10/17～10/31)

対象者	回答数	配布数	R6 回答率(%)	R5 回答率(%)
児童(5,6年生)	90	90	100.0	95.0
保護者	271	298	90.9	78.1
地域	19	44	43.1	52.2

2. 結果分析

肯定的な評価(A:とても思う、B:思う)の割合が8割程度を目標達成の判断目安とし、協議した。肯定的な回答がやや低い項目(8割以下)であっても、実態と学校の取組状況を総合的に判断した。

1 児童

学校が楽しく、好きだと答えた子どもたちも多いが、学校生活に不安を感じている子どもも一定数いる。子どもたち一人ひとりが安心して過ごせる工夫を、各学年、各クラスに合った形で行っていただきたい。相談しやすい雰囲気づくりなど、子どもたちへの接し方・指導の仕方に工夫の余地を残すと考えられる。

<9割以上の肯定的評価項目>

- ・1-(4)「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。」(A+B 95.9%)
- ・1-(5)「先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。」(A+B 91.8%)
- ・2-(3)「先生に注意されたことは、理解できる。」(A+B 95.8%)
- ・3-(1)「学校行事は楽しい。」(A+B 94.9%)
- ・5-(1)「先生たちは、ていねいに指導してくれる。」(A+B 92.8%)

<前年から肯定的評価が高く変化(10%以上)した項目>

- ・2-(3)「先生に注意されたことは、理解できる。」(A+B 95.8%) 12.6%UP
- ・3-(1)「学校行事は楽しい。」(A+B 94.9%) 12.8%UP
- ・6-(3)「私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている。」(A+B 64%) 10.3%UP
- ・6-(5)「学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。」(A+B 62.9%) 24.0%UP

<学校生活の否定的評価項目>

- ・5-(2)「先生たちに相談できる。」(C+D 14.5%)
- ・6-(1)「学校生活は楽しい。」(C+D 17.6%)
- ・6-(2)「学校が好き。」(C+D 25.8%)

2 保護者

学校行事や学校生活は子どもにとって楽しいと感じているが、学習面で不安を抱えている保護者が多い。

昨年に引き続きキャリア教育や地域への情報発信が弱いと保護者は感じているので改善が望まれる。

<9割以上の肯定的評価項目>

- ・3-(1)「学校行事は、子どもにとって楽しい。」(A+B 97.4%)
- ・3-(2)「学校行事は、子どもにとって達成感がある。」(A+B 93.4%)
- ・6-(1)「本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。」(A+B 90.4%)
- ・7-(3)「学本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。」(A+B 90.7%)
- ・11-(2)「本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。」(A+B 92.2%)

<3割以上の否定的評価項目>

- ・6-(2)「子どもは、家庭で自主的に学習をしている。」(C+D 38.7%)
- ・7-(2)「「学び舎」の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている。」(C+D 39.8%)
- ・12-(4)「お子さんは、以前より主体的に学習していると感じている。」(C+D 34.4%)

<3割以上のわからない回答評価項目>

- ・4-(1)「本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。」(34.7%)
- ・4-(2)「本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。」(43.9%)

- ・10-(3)「本校は、地域に情報を提供している。」(34.4%)

3 地域

20 項目中項目 13 項目が肯定的評価の割合が 8 割以上と学校の日々の努力のたまものとする。一方、わからないと評価された項目が多く、学校として、広報活動・情報提供の工夫・改善を更に進めること等を通して、協議会・委員会の方針・活動を周知させることが必要と感じる。

〈わからないが 20%以上回答項目〉

- ・3-(4)「学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。」(26.3%)
- ・4-(2)「地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。」(21.1%)
- ・5-(2)「学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。」(26.3%)
- ・5-(3)「学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。」(26.3%)

3. 学校への提言

(1) キャリア教育と主体的な学びについて

キャリア教育についての項目に関しては、保護者の評価が高くはない。日々の取り組みがキャリア教育につながっていることがわかるよう、保護者にとってわかりやすい発信と、より推進するための、各教科・領域での取り組みが必要である。

また、子どもたちの主体性を育てるには、子どもたち自身が安心して、ありのままの自分を肯定できる環境が不可欠である。関連する項目のアンケート結果は、日ごろからの先生方の取り組みの成果が出ており、肯定的なものが多いが、子どもたち一人ひとりに居場所ができるよう、先生方とのさらなる信頼関係の構築と、総合的な教育等を通して、学校重点目標でもある、「互いのよさを認め合い、相手を尊重できる子どもの育成」、「自らの課題に意欲をもって取り組み、自分の力を高めることができる子どもの育成」に取り組んでいただきたい。自分自身を大切にし、関心を持つことは、同じく重点目標の「自分の健康や体力に関心をもち、すすんで運動に取り組む子どもの育成」にもつながると期待できる。

(2) 情報共有と発信の強化

家庭と学校との情報共有を強化し、保護者が子どもの学習状況や学校の取り組みについて理解しやすくする仕組みが必要である。子どもに目標をもたせその実現を支援する取り組みの可視化、子どもの生き方や将来のことについて考える授業の充実と情報発信、地域への定期的な情報発信とその強化を考えていただきたい。そうすることで、保護者や地域の方に学校の取り組みをより理解してもらうことが可能となり、「分からない」と回答する割合を減らすことも期待できる。

4. 総合所見

学校は、山積する様々な教育課題、新たな課題に対して、次年度への改善項目を共有し、保護者、地域の方と協働し、課題に取り組んでいる。その中で、今年度 4 つの項目で肯定的評価が 10%以上高まり、保護者のアンケート回収率は 90%を超えたことなどから、昨年の課題に対応し学校は一定の成果を上げてきたといえる。鈴木忍校長のもと、地域運営学校としての機能を最大限に生かし、今後の更なる発展を期待する。

令和 6 年度 世田谷区立代田小学校 学校関係者評価委員会	
委員長：黒田高史（保護者）	委員：後藤彰夫（地域）
委員：吉松晃美（元保護者）	委員：大山夏希（保護者）
委員：富居めぐみ（卒業生）	